令和4年4月1日

各位

名古屋大学医学部附属病院
先端医療開発部長　水野　正明

バイオバンク利用案内

先端医療開発部バイオバンクの利用についてご案内申し上げます。

記

I.　対象プロジェクト

以下の優先順位に従い、先端医療開発部より利用について承認されたもの

1.　臨床研究中核病院の実績となるプロジェクト（医師主導治験、特定臨床研究）
2.　革新的医療技術創出拠点プロジェクト　橋渡し研究戦略的推進プログラム登録シーズ
3.　アカデミア主導型臨床研究
4.　AMED 関連事業
5.　その他

II.　支援業務

対象検体―組織

(1)　検体前処理

以下の検体について品質を保持して保管するための支援を行います。

・組織　（新鮮凍結、OCT 凍結ブロック、パラフィンブロック（FFPE））

※詳細については別途相談願います。

(2)　検体保管

−150℃フリーザー	細胞、DNA、組織　等
−80℃フリーザー	RNA 用

※　原則上記のように対応しますが、不都合な場合はご連絡ください。

1)　保管する検体はデータベース上で管理します。

2)　フリーザーの温度モニタリングを行います。

※温度上昇時は診療科担当者へ自動メール送信機能にてお知らせします。

3)　フリーザー温度上昇時に自動的に流入される液体窒素を管理します。

III.　利用方法（利用決定後）

・　消耗品は各自でご用意ください。
・　サンプル情報は、必ずサンプル管理システムに入力してください。
・　専用岡持ちを使用する場合は、各自でご購入をお願いします。

・ 専用岡持ちをご使用する場合は備え付けの岡持ちを各診療科で保管し、フリーザー利用終了時に原状回復してください。
・ 年度毎に利用申請が必要です。(利用開始後も単年度更新)
・ 利用料の請求は、新規申請年度については、申請時の予定保管検体数にて請求します。2 年目以降については、4 月 1 日時点の保管検体数にて請求します。なお、年度ごとに申請する利用申請書により、利用月が 1 年未満の場合は月割りとします。

※申請された利用期間より早く終了した場合の返金はいたしません。

・ フリーザーの利用は、原則 1 診療科につき 1 台になります。

・ 診療科につき担当者 2～3 名を選任してください。担当者による説明後、ご利用開始になります。その後は、先端医療開発部担当者と適宜相談してください。

Ⅳ. 注意事項

・ フリーザー利用者が増えた場合、優先順位をもとに先端医療開発部が判断し、翌年度より利用停止となる場合があります。その場合利用機器(フリーザー等)は原状回復後、明け渡してください。
・ 使用している機器、備品等が故障した場合は、別途費用を請求することがあります。
・ 自然災害等不測の事態が生じた場合、先端医療開発部では検体の品質などの責任は一切負いません。各診療科において適切な対策を講じてください。
・ 研究開発成果等について外部発表を行う場合、以下の表記例を参考に先端医療開発部による研究支援業務によるものであると謝辞等に明記するとともに、論文執筆を行った場合には先端医療開発部の研究支援を実施した者を論文への貢献があった者として言及をお願いいたします。

(英文表記例)
Acknowledgement
This research is (partially) supported by Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital.

(和文表記例)
謝辞
本研究(の 1 部は)名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部の支援を受けたものです。

円滑にバイオバンクを運用するにあたり、ご理解ご協力の程何卒よろしく申し上げます。

（先端医療開発部担当者）
先端医療開発部
先端医療・臨床研究支援センター
末竹（内線：2942）
camcr@med.nagoya-u.ac.jp